

KAGパートナーシップ 顧客共創セッション

「予測型養殖」への変革を共に実現する

プロジェクトキックオフ

1. はじめに

本日は、新たなパートナーシップの始まりとなる重要なプロジェクトキックオフにお時間をいただき、誠にありがとうございます。

目指すビジョン

「リアクティブな記録管理から、プロアクティブなデータ駆動型養殖経営への転換」

現状と未来の比較

現状の操業モデル

- 勘と経験に依存した事後対応
- 分断されたデータと手作業での記録
- 見えにくいコストと機会損失

目指す未来：予測型養殖

- データに基づくプロアクティブな意思決定
- リアルタイムな可視化とAIによる予測
- ****ROI 275%****を目指す高収益な事業構造

2. 現状と未来への期待

これまでのシステムや業務プロセスを振り返り、今回のプロジェクトで特に改善・実現したいことをお聞かせください。

ディスカッション①

日々の業務

これまでのシステムで「ここがもう少しこうだったら」と感じる点

データ活用

データが見えるようになることで期待すること

ディスカッション②

ノウハウの継承

熟練の方の「勘」や「経験」を組織の力に変える方法

新しい働き方

現場の働き方がどう変わると理想的か

3. 成長の土台づくり

皆様のご意見は「成長の土台」に関わっています。

日々の使いにくさや手間の積み重ねは、新しい挑戦への足かせになることがあります。

土台を整える価値

俊敏性の向上

新しいアイデアを迅速・低コストで実現

イノベーションの促進

データに基づいた改善提案が活発に

働きがいの向上

創造的で価値の高い仕事に集中

4. 未来像の再確認

貴社の目指す未来像を「リーンキャンバス」にまとめました。

リーンキャンバス①

顧客の課題

- 斃死リスクの低減
- 生育状況の最適化
- 勘と経験への依存脱却
- 労働生産性の向上

独自の価値提案

データとAIで持続可能な予測型養殖を実現

リーンキャンバス②

ソリューション

- オフライン対応モバイルアプリ
- IoTセンサー自動収集
- AI予測モデル
- リアルタイムダッシュボード

主要指標 (KPI)

- 斃死率削減: 15-20%減
- 入力時間削減: 5-8h/週
- FCR改善
- システム利用率

リーンキャンバス③

圧倒的な優位性

ユーザー

現場の暗黙知×リアルタイムデータの独自予測モデル

- 現場作業員
- 養殖場管理者
- 経営層

ユーザーストーリーマップ

 採苗・ 育成

- 最適投入タイミング判断
- 生育・斃死数記録
- 付着物除去作業記録

 リスク・ 経営

- 斃死リスクアラート確認
- 環境データ監視
- 最適収穫時期予測
- ROI分析

5. プロジェクトの進め方

共に育て、共に成功するアジャイル開発

私たちは「アジャイル開発」という進め方を提案します。

2週間という短いサイクルで「動くもの」を作り、皆様に実際に触っていただきながら、対話を重ねて一緒に正解を見つけていく

アジャイル開発のメリット

✓ 手戻りの最小化

早い段階で認識のズレを発見し、修正できます

🎯 価値の早期実現

最も重要な機能からリリースし、早く効果を実感できます

🔄 変化への柔軟性

途中でより良いアイデアが出れば、柔軟に計画に取り込みます

🤝 チームの一体感

開発者と利用者が一体となって、最高のプロダクトを創り上げます

皆様をお願いしたいこと

この進め方では、皆様の協力が不可欠です。

2週間に一度の「お披露目会（スプリントレビュー）」にぜひご参加いただき、率直なフィードバックをお聞かせください。

皆様の声が、プロジェクトを成功に導く何よりの羅針盤となります。

6. 今後の進め方

要件定義から開発へ

いただいたスケジュールに基づき、プロジェクトを成功に導くための具体的な進め方をご提案します。

タイムライン

Step 1: 要件定義（6-7月）

機能洗い出し・優先順位付け・スコープ確定

Step 2: アジャイル開発（8-11月）

2週間スプリントで「動くもの」を継続的にお届け

Step 3: 最初のスプリント

最も価値の高い機能から開発着手

本日はありがとうございました

予測型養殖の実現に向けて

価値ある旅路をご一緒できることを

楽しみにしております！

 養殖業界の未来を共に創造しましょう 